

■北条氏政 戦国大名。後北条氏4代。外交に長け、合従連衡を通じて関東全域を支配するも、豊臣秀吉に攻められ滅亡。

ほうじょううじまさ

銀輸出始・・・1538＝ 3代北条氏康の子に生まれる。母は正室で今川氏親の娘。幼名は松千代丸。

鉄砲伝来・・・1543＝ 5歳：

勘合船終・・・1547＝ 9歳：

ザビエル来日1549＝11歳：同母兄新九郎氏親とともに、父の師飛鳥井雅綱から蹴鞠の伝授を受ける。

大友布教許可1552＝14歳：兄氏親が死去したため、嫡男になり、代々継承されてきた新九郎を名乗る。

・・・・・・1554＝16歳： 父氏康が武田信玄と同盟を結ぶにあたり、その11歳の娘を正室に迎える(黄梅院)。

・・・・・・1556＝18歳：

大内府内開港1559＝21歳： *家督を相続するが、実権はなお父氏康(御本城様)が握り、”小田原二御屋形”体制と呼ばれる。

桶狭間の戦い1560＝22歳： 父氏康の計画により、代替わりを示すべく、大規模で最後になる徳政令を發布、領国全体に影響力を及ぼすとともに、在地の個別領主権を弱体化することにも成功。

川中島最激戦1561＝46歳： 父のもとで、関東へ侵攻してきた上杉謙信に、小田原城が包囲されるも死守、謙信は撤退して鎌倉に兵を引き上げ、なお諸戦を行うも成果上がらず、越後国へ帰る。以降、上杉謙信との一進一退の攻防が続く。

大村長崎開港1562＝47歳： 嫡男氏直(後北条氏5代)が誕生。

大村純忠受洗1563＝48歳： 武田氏の援軍を得て、松山城や上野厩橋城を攻略、

川中島の戦い終1564＝26歳： 義元没後の今川氏の衰退で、三国同盟は破棄され、今川軍は武田軍に敗北、今川氏真を支援すべく駿河に

將軍義輝自刃1565＝27歳：

・・・・・・1566＝28歳： 上杉謙信により狙われた下総臼井城攻防戦に、初めて父に代わって出陣し、大勝して勢力図を変えるも、

岐阜楽市楽座1567＝29歳： 里見氏を攻略して、裏をかかれて大敗(三船台合戦)、上総南半を失う。

織田信長入京1568＝30歳： 義元没後の今川氏の衰退で、三国同盟は破棄され、今川軍は武田軍に敗北、今川氏真を支援すべく駿河に出兵して、敵対関係は決定的となり、甲相同盟は破綻。夫婦仲の良かった黄梅院とも離縁。この苦境を乗り切るべく、上杉氏との同盟交渉を開始、

京都宣教許可1569＝31歳： 上杉謙信と同盟を結んで、信玄と戦ううち、甲斐に戻った黄梅院も死去。

比叡山焼討い1571＝33歳：

三方原の戦い1572＝34歳： 信玄の三方が原の戦いには援軍を派遣、

室町幕府滅亡1573＝35歳： 信玄が死去。

長島一揆鎮圧1574＝36歳： 関宿城を攻め、

安土楽市楽座1577＝39歳： 祖父氏綱以来の宿敵里見氏と和睦し、

上杉謙信没い1578＝40歳： 謙信が死去して、後継争いとなった際、援軍を頼んだ武田勝頼が敵方に寝返ったため、

安土教会許可1579＝41歳： 徳川家康と同盟を結び、織田信長と交渉し、

石山合戦終い1580＝42歳： 甲相同盟を破棄して、信長の傘下に入り、子氏直に家督を譲るも実権を保持、

本能寺の変い1582＝44歳： *天目山の戦いで武田氏を滅亡(勝頼の妻だった妹とともに自殺)させた。織田信長が本能寺の変で死去すると、神流川の合戦を起して上野国を奪還、甲斐に侵攻した徳川家康の娘と氏直を結婚させてその圧力を抑え、関東のほぼ全域にわたる支配を実現したが、

賤ヶ岳の戦い1583＝45歳：

刀狩海賊取締1588＝50歳： 豊臣秀吉から求められた聚楽第行幸への列席を拒否したため、怒りを買ひ、

・・・・・・1589＝51歳： 秀吉による北条征伐軍を迎え撃つも、支城が次々と落とされ、

秀吉全国統一1590＝52歳： *小田原に籠城して最後の抵抗を試みるも遂に降伏し、切腹して没し、後北条氏も滅亡した。

「この人どんな人」、「人物日本歴史館」、平凡社百科事典、インターネット。伊東潤+板嶋恒明「北条氏康 関東に王道楽土を築いた男」で追補、